

動物医療教育における情報技術の活用：映像素材の再利用と共有

倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命動物科学科

神田鉄平、古本佳代、佐々木崇了、前田憲孝、村尾信義、古川敏紀

Keywords：動物医療、獣医学、情報技術、映像

1. 研究目的

映像機器の普及に伴い、動物医療現場および関連分野教育施設においても、教育上あるいは学術的に有意義な映像を撮影する機会は日に日に増加する傾向にある。同時に機器性能の向上により撮影される映像は、その手軽さに反して、非常に高品質なものになっている。しかしながら、何らかの目的をもって撮影された筈の映像は、撮り溜められるばかりで、そのほとんどが教育等に再利用されていない実情がある。

つまり、『有意義であることが分かっているので積極的に取り入れたいが、実際にはなかなか実施できない』という状況を打開しない限り、動物医学分野のみならずあらゆる教育分野において情報技術が真に有効なものになることは無い。そこで我々は、映像素材を対象として、それらの効率的な再利用と共有の方法について検討を行った。

2. 概要と特徴

今回の検討では簡便で効率良く映像素材を再利用し、それを複数で共有することを目的としている。これに関して、実際に使用した機器環境および具体的な作業手順の概略を示す。(図1)尚、これらは本学科で実際に利用されている環境である。



(図1：環境の概略)

3. 応用の可能性

今回紹介した環境はあくまで一例ではあるが、ある程度は容易に映像素材の効率的利用が可能であることが示された。これらは動物医療分野に限ることなく広く教育に寄与出来る可能性がある。また、今後はセキュリティや著作権といった点に配慮しつつネットワークを拡大して、学内に限ることなく卒後教育や地域教育に貢献することも技術的には十分に可能である。